

-Index- 紙上報告 夏季研修会①

「聴覚障がいのある幼児・児童・生徒を担当する教員研修会」
きこえの程度と平均聴力レベル
中学部授業体験会のご案内



紙上報告！夏季研修会①

本校主催の研修会に、今年度もたくさんの先生方にご参加いただきました。今号では、「聴覚障がいのある幼児・児童・生徒を担当する教員研修会」の様子について、紙上報告します。

第12回聴覚障がいのある幼児・児童・生徒を担当する教員研修会

令和5年8月2日（水）参加者25名

【全体講座】聴覚障がい教育について

～受けてきた・携わる立場から～

全体講座では、「聴覚障がい教育について ～受けてきた・携わる立場から～」というテーマで、本校の聴覚障がいのある教員からお話をしました。聾学校と地域の学校に通っていた経験から、その当時感じていたことや、障がい受容、手話との出会いや情報保障などについての話がありました。

また、聴覚障がい者としてのアイデンティティの確立、ろう文化と聴者文化の違いなど、「聴覚障がい教育を受けてきた立場」からの視点、そして「聴覚障がい教育に携わる立場」からの視点にもとづく話があり、有意義な全体講座となりました。

学校生活すべてが言語獲得の場であることや、子どもと向き合うことの大切さについて、あらためて学ぶことができました。



・実際の経験をお聞きできて勉強になりました。特に、**思春期に障がいを受容できなかつた経験**について、具体的な経験や視覚支援の重要性についてのお話が印象的で勉強になりました。

- ・ **イメージをつけるということが大切**ということを知ることができました。また、イメージをつけるためにできる工夫を知ることができ、活用したいと思いました。
- ・ 子どもが成長して大人になっていく中の、**私は今、その育ちのどの位置に携わっているのか**を確認することができました。「教育は合理化してはならない。」という言葉通り、子どもに寄り添って積み上げられていったであろう教材のスライドを拝見し、感服しました。**寄り添う教材作りを探り続けたい**と意欲が湧きました。
- ・ **聴覚障がいのある子どもの立場からと、支援者の立場の双方の視点**からお話をきくことができるとても勉強になりました。

【選択講座】

A 支援を嫌がる生徒へのアプローチ

- ・ **支援は十人十色**でありその場その場で対応しなければならないので、先生方の意見交換ができてこんな支援の仕方があることを知ることができました。
- ・ 様々な意見が聞けて良かったです。
- ・ 思春期の生徒の心情は複雑で、なかなか周りから見ていただけでは分からないことがあるなと思いました。**きこえる距離が近くなる**、というイメージがとても分かりやすかったです。
- ・ 子どもたちがどのような思いで支援を嫌がっているのか、**様々な視点での話**が聞けてよかったです。

B 発音指導



- ・ お話をきいたり実際に楽しく体験でき、**楽しく学習できる発音指導**をめざしたいと思いました。
- ・ 構音指導の振り返りと、**視覚的に示しながら指導する楽しさ**があらためてわかりました。
- ・ 舌の位置などの説明しても理解力が足りない児童がいたので、**用具を使って学ぶ方法**がわかって良かったです。ありがとうございました。

- ・ 担当している学級でも、発音に多少難がある児童がおり、**発音の仕組みがわかった**ことで、なぜそのような発音になるのかが少しわかりました。
- ・ **口の動かし方、舌の使い方**を学べたので、新しい方法で支援してみたいです。
- ・ 発音のしくみやどのように構音指導すればよいのか具体的に教えていただき、**学校での指導で活かしたい**と思いました。



C きこえと補聴機器

- ・補聴器や人工内耳、ロジャーの仕組みなど、わかりやすかったです。ロジャーで自分から離れた場所で小さい声でもよく聞こえることなどもわかり、ロジャーを使うときに気をつけることも実感できました。ありがとうございました。
- ・とても充実した時間でした。なぞに思っていた事がほぼ解決しました。
- ・実際、補聴器を体験することができ、また教科書にはない具体的な話をきかせていただいたので、ここでしかできない学びになりました。
- ・実際に補聴器を装着してみて、どんな風に音を拾っているのか、拾いすぎた場合、どんな負担を感じるかを知ることができました。これまで補聴器についての大まかな役割は理解していても、きこえなどが全く分からなかったのが、大変勉強になりました。

D ことばを育てよう

- ・言葉を獲得できるためにできる工夫や、方法をたくさん知ることができ、学びにつながることができました。今後につなげていきたいと思いました。
- ・教材や使い方など、実践されているものを見ることができてよかったです。

【実践交流会】

- ・他の学校の様子分かって、勉強になり、共感できました。
- ・様々な学校での実態を聞き、必要な支援は児童によって多様であることをあらためて学ぶことができました。
- ・たくさんの先生のいろいろな悩みをきいて、「そんなこともあるのか」「うちの子にも起こることかも」と思いました。
- ・他校の先生方に沢山ご助言いただくことができて、とても勉強になった時間でした。
- ・いろいろな学校の先生の話がきけ、参考になった。



アンケートのご協力、ありがとうございました！
次号では、「養護教諭セミナー」の紙上報告を掲載する予定です。

きこえの程度と平均聴力レベル

前号では「きこえのしくみ」について掲載しました。今号では、きこえの程度と平均聴力レベルについて掲載します。

日本聴覚医学会による難聴（聴覚障がい）の程度分類

日本聴覚医学会では、難聴の程度を4つに分類しています。平均聴力レベル（補聴器や人工内耳を装着していない状態での裸耳聴力）をもとに、軽度難聴が25 dB以上40dB未満、中等度難聴が40 dB以上70dB未満、高度難聴が70 dB以上90dB未満、重度難聴が90 dB以上と示されています。

軽度難聴	25 dB 以上 40dB 未満	小さな声や騒音下での会話の聞き間違いや聞き取り困難を自覚する。会議などでの聞き取り改善目的では、補聴器の適応となることもある。
中等度難聴	40 dB 以上 70dB 未満	普通の大きさの声の会話の聞き間違いや聞き取り困難を自覚する。補聴器の良い適応となる。
高度難聴	70 dB 以上 90dB 未満	非常に大きい声か補聴器を用いないと会話が聞こえない。しかし、聞こえても聞き取りには限界がある。
重度難聴	90 dB 以上	補聴器でも、聞き取れないことが多い。人工内耳の装用が考慮される。

(参考) 一般社団法人日本聴覚医学会 <https://audiology-japan.jp/>

本校には、さまざまな難聴の程度の子どもたちが在籍しているので、それぞれの難聴の程度やきこえ方について調べたり発表したりして、一人ひとりのきこえ方がちがうこと、補聴器・人工内耳の効果や必要な配慮も、人それぞれであることを学習しています。

また、難聴の程度や平均聴力レベルについての理解を深めるために、いろいろな音の大きさ(dB)や音の高さ(Hz)を調べる学習にも取り組んでいます。

音の大きさ (dB)	身近な音	音の大きさ (dB)	身近な音
20	ささやき声	80	大声の会話音
30	新聞をめくる音	90	騒がしい電車の中、工場
40	こおろぎの最大音	100	電車の通るガード下
50	静かな事務所	110	車のクラクション
60	静かな車の中	120	ジェット機の飛び音
70	騒がしい事務所		(真下)

(参考) 学研「耳と補聴器のひみつ」 <https://kids.gakken.co.jp/>

＼音の大きさ・高さ／

音の大きさ (音圧)	デシベル dB
音の高さ (周波数)	ヘルツ Hz

「dB」のdは小文字、Bは大文字で表記します。音圧の単位は、発明家アレクサンダー・グラハム・ベルに由来しているといわれています！



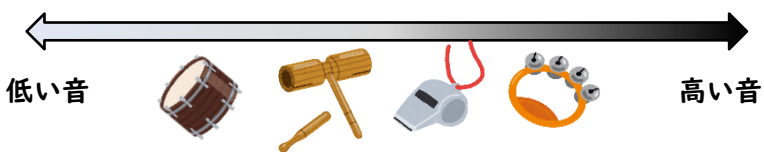
自立活動 (中学部) の授業では、騒音計アプリなどで、自分の声や足音、拍手の音、机や椅子を動かしたときの音など、さまざまな音の大きさを調べることがあります。きこえない・きこえにくい音を視覚化することで、普段は気づかない音の存在に、子どもたちが意識を向ける様子が見られます。また、調べてわかった内容をもとに、音のマナーについての学習につなげるようにしています。

机や椅子を引く音は大きかったなあ…床から持ち上げて運ぼうっと！



周波数についても、騒音計アプリで調べることができます。いろいろな楽器の音の高さを調べるなどして、音の高さ (Hz) についても楽しみながら学習できるように工夫しています。

125 250 500 1000 2000 4000 8000 (Hz)



平均聴力レベルについて

平均聴力レベルについては、いろいろな算出方法がありますが、日本では主に4分法が用いられています。周波数 500 Hz、1,000 Hz、2,000Hz のそれぞれの聴力レベルを a、b、c dB とした場合に $(a+2b+c) / 4$ という式で算出された数値 (dB) を平均聴力レベルとします。

$$\{500\text{Hz}+(1000\text{Hz}\times 2)+2000\text{Hz}\}\div 4$$

例えば、500Hzの音が40dB、1000Hzの音が60dB、2000Hzの音が80dBでききとれる人の場合は、次のようにして平均聴力レベルを算出することができます。

$$\{40+(60\times 2)+80\}\div 4 = 60$$

平均聴力レベルは 60dB

中学部授業体験会のご案内

本校中学部では日常の教育活動をご理解いただく機会と考え、次のとおり授業体験会を実施します。

- 日時 令和5年10月13日 (金) 9:15 ~ 12:40
- 会場 大阪府立中央聴覚支援学校 (本館1階 学習室①)
- 対象 (1) 通学区内の大阪市立・守口市立小学校6年生で、本校中学部への入学を希望・検討している児童・保護者
(2) 通学区外の小学校6年生で、本校中学部への入学を希望・検討し、入学の際には、通学区内に住所を移す予定の児童・保護者

4 当日の流れ

- 9:15 受付開始
9:30 ~ 説明 (本館1階 学習室①)

	社会的自立をめざす教育課程	中学校に準じた教育課程
9:50 ~ 10:40 授業体験①	英語	国語
10:50 ~ 11:40 授業体験②	社会 (国語)	数学 (理科)

11:50 ~ 12:40 教育相談

- * 教室数の関係上、参加希望人数によって内容が変更となる場合があります。
- * 希望人数が一定数を超えた場合、体験②の内容は () 内の教科となります。

- アクセス 谷町線・中央線「谷町4丁目」⑩番出口 南東約600m
谷町線・長堀鶴見緑地線「谷町6丁目」⑦番出口 北東約600m
(住所: 大阪市中央区上町1-19-31)
- 申込方法 別紙参加申込書を、9月29日 (金) までに担任の先生から本校へご提出ください。
- その他 申し込みの際は学校を通してご連絡いただくよう、ご案内しております。

「みみネット」編集部:

大阪府立中央聴覚支援学校 聴覚支援センター 担当: 中咲、金森
〒540-0005 大阪市中央区上町1-19-31
TEL. 06-6761-1419 FAX. 06-6762-1800